



第 39 球

先人の教えに学ぶ

2月下旬、西条市に30年余り住まわれ、現在は大阪で歴史を研究されている吉川ひろみさんをお招きし、「今、竹内立左衛門さんへの感謝と、未来への夢を考える」と題したご講演をいただきました。吉川さんは、江戸時代(約300町歩(約300ヘクタール))に及ぶ禎瑞新田干拓の難工事を成し遂げた竹内立左衛門の偉業を取りまとめ、『ていずい物語 竹内立左衛門 禎瑞新田に懸けた夢』を執筆された方です。

うれしいことに当日は、まさにこの干拓事業によつてできた土地の上に建つ禎瑞小学校で、竹内立左衛門の志や生き方、それに感動した吉川さんの思いを、4年生・5年生の子どもたちにとてもわかりやすくお話しいただきました。子どもたちにとっては、先人からの教えとともに、ふるさと禎瑞への感謝と誇りを学ぶ貴重な時間となったことでしょう。

禎瑞新田の開拓者、竹内氏の功績は多大であることはもちろんですが、吉川さんも言われていたように、本当に特筆すべきは、この土地に移り住み、懸命にこの土地を守り続けてきた先人たちの歩みだと思えます。干拓工事後も災害や塩害などに度々苦しめられましたが、その都度、堤防の修理や客土を繰り返して、あきらめることなく土地の改良を続けてきました。

現在、禎瑞地区に豊かで広大な農地が広がっているのは、脈々と受け継が

れてきた先人たちの苦勞のたまものであるといえます。この禎瑞干拓をはじめとした数多くの干拓事業は、現在の西条市に四国最大の耕作地面積をもたらしてくれました。

干拓事業に限らず、西条市の今の繁栄は、西条に生きた先人たちのたゆまぬ努力の上に成り立っています。今の時代を生きる私たちは、先人たちの偉業から教えを学び取り、これからの暮らしに生かしていかなばなりません。まずは「知ること」。

市ではこれまで、新幹線の生みの親である十河信二氏、小松藩儒官で教育者である近藤篤山先生などをはじめとする顕彰事業を進めてきました。各小学校においても、校区の偉人を調べ、その業績について学習する取り組みが盛んになっています。まさに市民憲章にもうたわれている「先人の教えに学び、伝統と文化を尊ぶ教育のまちづくり」の息吹が感じられます。

先人の功績を後世へしっかりと伝えていくことで、今を生きる私たちの使命を果たしていきたいと思えます。



▲禎瑞小学校の屋上から見た農業地帯

ようこそ市長室・移動市長室へ

市長が、市民の皆さんの声を直接お聞きします。皆様のご参加をお待ちしています。

■対象 市内各地域で活動する自治会などのグループや団体  
(1グループ当たり30分から1時間程度)

■日時・場所

- 4月18日(月) 9時～ 丹原総合支所
- 4月18日(月) 13時30分～ 東予総合支所
- 4月19日(火) 9時～ 本庁
- 4月19日(火) 13時30分～ 小松総合支所

■参加方法 各開催日の10日前までに、本庁広報広聴課、または参加を希望される各総合支所総務課へ申し込みが必要です。各場所3団体程度を予定。申し込み多数の場合は先着順。

■問合せ

- 市庁舎新館1階  
広報広聴課 広聴係  
TEL0897-52-1243
  - 各総合支所  
総務課 総務調整係
- ※電話番号は19ページ上段